

2004.5.26

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」社会貢献 G 議事録

- ・ 日 時：2004.5.26（水） 12:40～13:30
- ・ 場 所：八王子キャンパス芸術学科棟 2F 海老塚教授研究室
- ・ 参加者：海老塚耕一（グループ長・芸術学科）、田淵諭（環境デザイン学科）
野澤敏之（MC 事務室長）、筒井一憲（図書館事務課長）、田村勇二（教務部学
務課長）、渡辺美紀子（生涯学習センター）、米山秀樹（教務部）
（欠席者）：須永剛司（情報デザイン学科）、仙仁司（美術館事務室長）

・ 議事概要

現状分析シートの「現状分析項目」について検討を行なった。

- ・ 分析シートは増やさないこととした。（4 枚）
（各付属施設の現状・実績、産官学共同研究、生涯学習活動、高（中、小）大連携）
- ・ アーカイブについては MC の分析の中の一部盛り込むこととした。
- ・ 産官学共同研究の実績における金額は総額として発表することにする。

各付属施設の現状・実績に関しては、3つの施設（図書館、美術館、MC）で別々に執筆することとし、頁も別にすることとした。

社会貢献グループとしての文章執筆（「社会貢献」ということに対する文章）が必要かどうかを確認することとした。

それぞれの担当部署で目安として2ページを執筆持分とすることとし、最終的には社会貢献グループで15ページ前後に調整することとした。

以上

担当部署	図書館、美術館、MC	分析項目	各附属施設の現状・実績
------	------------	------	-------------

各附属施設の運営方針
各附属施設の特徴
社会に対する活動内容の実績（利用者数、活動内容）
社会との活動のリンク
学生のみならず役割【美術館】
利用者からの不都合に対する意見
今後の課題

図書館、MC は 項目 美術館は 項目

担当部署	MC	分析項目	産官学共同研究
------	----	------	---------

産官学共同研究に対する本学の考え方
産官学共同研究の特徴
産官学共同研究の活動実績（研究数、金額、学科構成など）
学生と社会に対する効果
産・官・学からの意見
今後の課題

担当部署	生涯学習センター	分析項目	生涯学習活動
------	----------	------	--------

生涯学習活動の運営方針
生涯学習活動の特徴
生涯学習活動の実績（講座数、講座構成、講師構成、受講者数、受講者構成）
学生のみならず役割
受講生の意見
今後の課題

担当部署	教務	分析項目	高（中、小）大連携
------	----	------	-----------

連携の運営方針
連携の目的と実績（受入校数、受入者数）
連携についての要望と意見

今後の課題